

## 犠牲者への鎮魂と被災地の復興を願う「東北六魂祭」(7/16)



### 被災地域には、まだ一般車両は進入禁止の所か

東日本大震災の犠牲者への鎮魂と被災地の復興を願って東北六県の各県の代表的な祭りが、今日、明日と仙台に集まって「東北六魂祭」が開催なので、ちょっと覗いてきました。

仙台七夕、青森のねぶた(上の写真)、秋田の竿燈、福島の大わらじ(左の写真)がありました。

ねぶたは、伊達政宗がかぶとを使い、震災に見立てた赤い暴れ馬を迎え撃つ様子をイメージして「六魂祭」のために作られ、いくつかに分けて青森からトラックで運ばれてきたとか。

今夜はパレードがあるようで、岩手:さんさ踊り、山形:花笠踊りはその時に見られるのでしょうか。

震災後、自粛の気持ちがこの祭りを切っ掛けに弾けたかのように、例年の仙台七夕祭でもこうは混まないほど祭り会場の市庁前の広場、県庁前の公園はたいへんな人出でした。

祭の多くは鎮魂・感謝・慰めなので、日本人には、やはり祭りは必要な大事なもののよう。

東北六魂祭の会場で短冊を書いて復興を願うことは出来たが、犠牲者へ弔意を表したく、帰途、仙台近郊の津波被災地域の荒井・荒浜地域に向かったが、地域に入る交差点からは関係者以外の一般車両の進入は禁止で監視員も立っていて、それ以上は進めなかった。

4ヶ月が過ぎたが、この被災地域の片付けはまだまだのよう。

進入禁止が解除になったら、ぜひ訪れて弔意を表したいと思っている。